# 敬老カード 高齢者の冬の外出支援に追加交付を認めてください

## 市議会で陳情の趣旨説明－高齢者への配慮を求める

**陳情の趣旨説明（要旨）**

今年からは３月に一度申請した後に、追加で申請ができる制度になり喜んでいました。ところが、９月になって８月いっぱいまでで受付は終了と聞き、大変驚きました。あわてて区役所へ相談に行きましたが、期限を過ぎているからと、受付をしてもらえませんでした。

確かに交付の説明書には説明が書いてあるのですが、最後の方に記載してあり、私は気がつきませんでした。広報も私はよく見ているのですが、期限についてのお知らせは気づきませんでした。

気がつかない本人が悪いといわれればそれまでですが、うっかり申請を忘れて区役所へ相談された人が、分かっているだけでも６０人余りいらしたそうです。高齢になるとうっかりや、物忘れは若い人に比べ多くなってしまいます。また、年度後半の交付ですから、９月までに申請をしたら良いのではないかと私のように思う人がいるのも事実ではないでしょうか。

敬老パスの理念は、高齢者の外出支援や社会参加だと聞いております。できるだけ利用してもらい、高齢者が元気で外出できることが大事ではないでしょうか。私は老人クラブの集まりにも行きますし、交通安全の啓発活動にもボランティアで、できるだけ参加しております。

今回の追加交付という制度改定は新しい試みですので、期間に幅を持たせて、受け付けていただきたかったと思っています。８月１ヵ月の期間ではとても短く、指摘されて気がついたときには手遅れという方が、まだまだたくさんいらしたのではないかと思います。

高齢者にとって、冬は寒いことと道路がつるつるになって転倒の危険もあり、家に閉じこもってしまいがちです。その上に外出にお金がかかれば、一層外出を控えてしまいます。しかし、病院への通院、入院している家族のもとへ行くこと、買い物など交通機関を使って外出が必要な方はたくさんいます。

今年は住民税が大きく上がり、国民健康保険料や介護保険料も上がり、生活は楽ではありません。今の時期は高い灯油代のことも悩みの種です。節約をしながらも、家に閉じこもってしまっては心身の健康に悪くなると思い、外出を心がけています。敬老カードによる外出支援があれば助かるのです。

市では来年度からの改善を考えていらっしゃると伺っております。今年度においても、私のようなケースをぜひ救済いただくようにお願いしたいのです。今年度の残された期間は短いとはいえ、冬の時期の外出支援は大変役立ちます。敬老カードの理念に基づいて、高齢者への特別の計らいを市議会の皆様へお願いする次第です。

長谷川さんの趣旨説明

## 今年度はシステムや費用の面で無理 来年度は周知方法や期間を検討する

追加交付期限をよく知らなかったり、失念した人がいたため、受付期間が短すぎるので柔軟な対応で追加交付を求めて陳情を提出していました。市議会で12/12に趣旨説明と審査が行われました。

長谷川さん（76歳）はご自分の体験を元に、左記のような趣旨説明を行いました。連絡会の関係者10数人が傍聴に来ていましたが、説明が終わると思わず拍手が起こりました。

**市側－今年度中は無理**

市の回答－①約14万人へ新たに周知しなければならない、②郵便局へ交付の依頼や、郵送手続きなど1,300万円ほどかかる、③交付の実務に1ヵ月半はかかるので、年度内は無理である。

**来年度以降の改善の必要性は認める**

①交付期間が短いという意見があり検討する、②広報・周知方法を検討、③区役所へ申請し郵便局で受け取る手間を簡単にしたい、という改善を検討している。

**陳情は継続に**

共産党の熊谷議員から、高齢者に配慮し、年度内の再交付実施を認めるように意見が出されましたが、陳情は継続審議となりました。

Fax通信 ０６年１２月１５日

札幌敬老パスを守る連絡会
白石区菊水3条3丁目 井上ビル 札幌社保協気付
TEL ８２３－０８６７Fax ８２１－３７０１
www.sapporo-syahokyo.jp/syaho_pass.htm